

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第三小学校

校 長 名 桐 井 裕 美 印

令和6年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- よく考える子ども（知識技能、思考力・判断力・表現力等を身に付け、意欲的に学ぶ子供「問題解決力」、「学力向上」）
- ◎ 思いやりのある子ども（自己を律し、他と協調して、命を大切にする子供「人間関係形成力」）
- 体をきたえる子ども（自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ子供「実践力」）
- 最後までやりぬく子ども（苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく子供「実践力」）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア よく考える子ども 「問題解決力」を育成し、「学力向上」を図るために

- ・学習規律の徹底、学習意欲の向上を図り、学習内容の基礎・基本を確実に習得させ、学習の基盤を構築する。
- ・教材研究を基に言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成する。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成をより一層重視した「主体的・対話的で深い学び」への授業改善を図る。
- ・指導改善にて組織的・計画的に学習過程や成果を評価し「妥当性・信頼性」を高め、学習意欲の向上を図る。
- ・一人1台学習者用端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」となる授業展開を工夫する。
- ・総合的な学習の時間等にて、児童を主体に探究課題・探究課程を充実させ横断的・総合的な学習を展開する。
- ・SDGsカレンダーに基づき、「ふるさと学習」、「安全学習」を中心に、地域や学校に誇りと愛着をもち、地域貢献する意欲及びその実践力を高める。
- ・言語活動、探究活動の充実に向け、読書・学習・情報センターとしての学校図書館の利活用を促進する。

イ 思いやりのある子ども 「人間関係形成力」を育成するために

- ・安全教育を推進し、生命を尊重する心、相手を思いやる豊かな心を育み、自他を大切にする意識を高める。
- ・「人権教育プログラム」を活用し、「自分も相手も大切にする」人権教育を組織的・計画的に推進する。
- ・計画に基づく道徳科の「考え・議論する」授業を要とし、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ・「いじめ防止基本方針」を基に「学校いじめ対策委員会」を核とし、未然防止、早期発見、早期対応を図る。
- ・集団活動や体験活動の充実、「キャリア・パスポート」の活用等を通じて、自尊感情、自己肯定感を高める。
- ・保護者・地域・関係機関と連携を図り、規範意識・生活規律の向上及び、組織的な不登校対応を推進する。
- ・「ひのスタダード」に基づく特別支援教育の推進及び特別支援学級、ことばの教室「たんぼぼ」、特別支援教室等との連携・交流活動の充実を図り、質の高い教育を推進する。

ウ 体をきたえる子ども 「実践力」を育成するために

- ・運動の楽しさや体を動かす心地よさを体得する授業改善を通して運動習慣の定着を図る。
- ・「体力向上週間」、休み時間の外遊び等、運動の日常化を図り、体力向上への意欲と実践力を高める。
- ・保護者・地域・関係機関と連携し、生命（いのち）の安全教育、がん教育、性教育、食育を推進し、健康教育の充実を図る。
- ・「学校危機管理マニュアル」を基にした訓練、保護者・地域・関係機関と連携した安全教育の充実を図る。

エ 最後までやりぬく子ども 「実践力」を育成するために

- ・学級活動、学校行事等、自主的・実践的な集団活動を通して、集団や社会におけるよりよい生活及び人間関係を形成し、目標に向かい粘り強く努力する力を育成する。
- ・幼保小・中連携教育を推進し、大坂上中学校区の学校教育に対する相互理解・共通理解を図り、スタートカリキュラム、キャリア教育の充実を図る。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・週ごとの指導計画を基に、教育課程の適正な実施及び妥当性・信頼性のある評価を行う。
- ・授業規律の徹底、児童の実態に応じた授業改善を行い、学習の基礎・基本の確実な習得を図る。
- ・東京都教育委員会安全教育推進校として、探究過程を重視した横断的・総合的な学習の充実、「主体的・対話的で深い学び」、「授業のユニバーサルデザイン」を起点とした研究を推進し、児童の学力向上を図る。
- ・朝学習を活用した読書、フリートーク、音読、算数科の学習により、思考力・判断力・表現力・言語能力等の育成を図る。
- ・読書活動、言語活動、探究活動を推進する学校図書館の利活用、三小選書の読破を継続指導する。
- ・情報リテラシー及び利用ルールを基に、一人1台学習者用端末を効果的に活用し、各教科等本時のねらいを達成するための「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。
- ・体育科の授業、体育的行事において、場や時間の工夫、ICTの活用による授業改善を図る。
- ・休み時間を通して、運動の日常化を図り、「握力」及び「ソフトボール投げ」等の向上を図る。
- ・「体力向上週間」において目標達成のためのカードを活用し、短縄跳び、長縄跳び、持久走に取り組み、体力向上への意識を高め、継続的に運動に取り組む習慣化を図る。

イ 特別の教科 道徳

- ・「自分も相手も大切に作る」人権教育の視点を基に、「生命の尊さ」、「親切・思いやりの心」を重点とした道徳教育を道徳科の授業を要として実施し、生命尊重、親切・思いやりの心を育成する。
- ・年間指導計画を基に、「考え・議論する」道徳科の授業をつくり、道徳的諸価値について自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方への考えを深める道徳性を養う。
- ・毎時間、振り返りを記述させ、自己の成長を実感させる。また評価材料として指導改善を図る。

ウ 外国語活動

- ・ALTとの連携、パフォーマンステスト等による学習評価に基づいた授業改善により、言語や異文化について理解を深め、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。
- ・第1・2学年は、年間5時間、第3・4学年は、年間35時間実施し、自分の考えや気持ちなどを伝え合う素地を養うため、国際的な視野を広げ異文化理解を図る体験活動を充実させる。

エ 総合的な学習の時間

- ・児童自ら、探究の過程である「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」を繰り返し行うことにより、探究的な見方・考え方、課題解決力を育成する。
- ・地域力を活用し、「ふるさと学習」、「安全学習」を基にした、カリキュラム・マネジメントの充実を図り、地域から学び、地域への愛着をもたせ地域貢献力を育成する。
- ・SDGsカレンダーを基に、各学年の発達段階に応じた特色ある授業実践を行うことにより、探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、自他を大切にし、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

オ 特別活動

- ・集団活動に自主的・実践的に取り組み、集団の一員として望ましい行動の仕方を身に付ける。
- ・「なかよし班活動」や学級活動・児童会活動・学校行事等よりよい学校生活を築くための体験的な

活動を通して、集団への所属感や連帯感を養い、合意形成や意思決定できる力を付ける。

- ・「キャリア・パスポート」等を活用し、夢や目標に向けて取り組んだことを振り返り、自己の成長を実感させ、自尊感情・自己肯定感を高めることにより、自己実現を図ろうとする態度を養う。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・多様性を認め合い、規範意識及び生活規律の向上を図り、望ましい集団生活を確立する。
- ・児童主体の取組やスローガンづくりを重視し、自ら集団行動の向上を図る意識・実践力を高める。
- ・生命（いのち）の安全教育、SOSの出し方に関する教育の実施等、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動を中心に、生命尊重教育を推進し、命の尊さ、互いを大切にする心情を育成する。
- ・出席状況調査の情報共有、関係機関との連携、ICTを活用した学びを支援し、不登校の未然防止、早期支援、長期化への組織的対応を図る。
- ・自尊感情・自己肯定感を高め、いじめを許さない学校として、「学校いじめ防止基本方針」を基に、「学校いじめ対策委員会」を核とし、暴言、暴力等の未然防止、早期発見、早期対応を図る。
- ・「人権教育プログラム」を適切に活用し、全教職員の人権感覚を磨き、人権尊重教育を推進し、児童自身の人権感覚を高め、「自分も相手も大切にする」心情を育成する。
- ・「安全教育プログラム」を活用し、生活安全・交通安全・災害安全の安全学習・安全指導を意図的・計画的に実施し、児童自ら、危険を予測し、回避する能力を育成する。
- ・あらゆる場面を想定した避難訓練、「防災ノート～災害と安全～」、「東京マイ・タイムライン」の活用、「災害体験者から学ぶ教室」を実施し、自ら災害から身を守る意識、実践力を高める。
- ・特別支援教育コーディネーターを要とし、校内支援委員会を意図的・計画的に実施し、児童理解の共有化を基に、課題解決を組織的に行う。

イ 進路指導

- ・学校行事、委員会、クラブ活動等において児童一人一人のよさや可能性を生かす場を設定し、目標達成に向かって意欲的に取り組む実践力を育成する。
- ・幼保小・中連携教育を推進し、大坂上中学校区内の保育園・幼稚園や小・中学校及び特別支援学校との交流を基に、将来への見通し及び、夢や希望をもって生きていく態度を育てる。
- ・地域人材や社会人講師を招いた学習を通して、望ましい職業観・勤労観を育成し、自分らしい生き方の実現を目指す。

(3) 特色ある教育活動

- ・「安心できる学校」プロジェクトを基に、児童・教職員が互いに支え合い、全ての児童が居心地のよい学校・学級環境の構築を図る。
- ・コミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校教育の推進を図る。
- ・安全教育推進校として、自ら適切に判断し主体的に行動する児童の育成に対する成果を公開する。
- ・保護者・地域と連携した「防災デー」を実施し、地域コミュニティを基に防災意識の向上を図る。
- ・授業内容の焦点化、視覚化、共有化を図り、児童を主体とした授業改善を行う。
- ・特別支援学級、ことばの教室「たんぼぼ」、特別支援教室、リソースルーム等との連携を図り、協働的な学びを推進し、質の高い教育を推進する。
- ・学校2020レガシーの取組を継続し、礼法や和太鼓の学習及び障害者理解教育の推進を図る。
- ・タグラグビー教室、空手道体験教室、ものづくり教室等地域人材を活用した教育活動を推進する。
- ・情報モラル教育を通して、一人1台学習者用端末等の適正な活用についての意識を高める。
- ・保育園・幼稚園等との連携を基に、スタートカリキュラムを策定し、安心して学ぶ環境や学習内容を整え、学校生活をスタートできるようにする。

第3表

学校名 小03 日野市立日野第三小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	16	21	20	14	5	19	22	20	18	17	18	15	205
2	16	21	20	14	5	19	22	20	18	17	18	15	205
3	16	21	20	14	5	19	22	20	18	17	18	15	205
4	16	21	20	14	5	19	22	20	18	17	18	15	205
5	16	21	20	14	5	19	22	20	18	17	18	16	206
6	16	21	20	14	5	19	22	20	18	17	18	15	205
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年は、卒業式に出席するため、第1～4学年、第6学年より1日増。 ・振替休業日のない土曜日授業の日数は、0日。 												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語		306	315	245	245	175	175
	社会				70	90	100	105
	算数		136	175	175	175	175	175
	理科				90	105	105	105
	生活		102	105				
	音楽		68	70	60	60	50	50
	図画工作		68	70	60	60	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	105	105	105	90	90
	外国語						70	70
	小計		782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳			34	35	35	35	35	35
外国語活動			(5)	(5)	35	35		
総合的な学習の時間					70	70	70	70
特別活動	学級活動		34	35	35	35	35	35
	クラブ活動					(16)	(16)	(16)
	委員会活動						(11)	(11)
総計			850	910	980	1015	1015	1015
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間45分。 ・第1学年はスタートカリキュラム年間5時間を余剰時間で30時間を教科等の時間に位置付けて実施する。 ・クラブ活動(60分)と委員会活動は、総授業時数外で実施する。クラブ活動は60分授業とし、12回で16時間。 ・総合的な学習の時間の名称は、総合的な学習の時間とする。 ・第1学年、第2学年は年間5時間の外国語活動を余剰時間で実施する。 						

第4表の1

学校名 小03 日野市立日野第三小学校

令和6年度 4 学 校 行 事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	月		水	避難訓練(引き渡し)	土		月	安全指導	木		日	
2	火		木		日		火		金		月	
3	水		金	憲法記念日	月		水	避難訓練	土		火	社会科見学(5)
4	木		土	みどりの日	火	安全指導	木		日		水	
5	金	春季休業日終	日	こどもの日	水	定期健康診断終	金	社会科見学(4)	月		木	
6	土		月	振替休日	木	振替休業日(6)	土		火		金	
7	日		火	安全指導	金		日		水		土	
8	月	始業式 入学式	水		土	日光移動教室始(6)	月		木		日	
9	火	給食始(2~6)	木		日		火		金		月	
10	水	定期健康診断始	金		月	開校記念日 日光移動教室終(6)	水		土		火	避難訓練
11	木		土		火	振替休業日(6)	木	posの出し方に関する教育(5)	日	山の日	水	
12	金		日		水		金	演劇鑑賞教室	月	振替休日	木	
13	土		月	ハヶ岳移動教室始(5)	木		土		火	閉庁日始	金	
14	日		火	ハヶ岳移動教室終(5)	金	避難訓練	日		水		土	
15	月	給食始(1) 安全指導	水		土		月	海の日	木		日	
16	火		木		日		火		金	閉庁日終	月	敬老の日
17	水		金	自転車安全教室(3)	月		水		土		火	
18	木	国学調(6)	土		火		木	給食終	日		水	
19	金		日		水		金	終業式	月		木	
20	土		月	水泳指導始	木		土		火		金	
21	日		火		金	社会科見学(3)	日	夏季休業日始	水		土	学校公開日 道徳授業地区公開講座
22	月	市学調(5) 家庭訪問始	水		土		月	夏季学習会始	木		日	秋分の日
23	火	家庭訪問終	木		日		火		金		月	振替休日
24	水	個人面談始	金	学校公開日始 セーフティ教室	月		水		土	夏季休業日終	火	振替休業日
25	木	避難訓練	土	学校公開日終	火		木		日		水	
26	金	交通安全教室(1・2) 個人面談終	日		水		金	夏季学習会終	月	始業式	木	
27	土		月	振替休業日	木		土		火	給食始	金	
28	日		火		金	社会科見学(6)	日		水		土	
29	月	昭和の日	水	体力テスト始	土		月		木	安全指導	日	
30	火		木	体力テスト終	日		火		金		月	社会科見学(4)
31			金				水		土			

第4表の2

学校名 小03 日野市立日野第三小学校

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	火		金		日		水	元日	土	学校公開日(防災デー) 校内書初め展終	土	
2	水		土	東京都教育の日	月	安全指導	木		日		日	
3	木		日	文化の日	火		金		月	振替休業日	月	安全指導
4	金	避難訓練	月	振替休日	水		土		火	安全指導	火	
5	土		火	安全指導	木		日		水		水	
6	日		水		金		月		木		木	
7	月		木	生活科見学(1、2)	土		火	冬季休業日終	金		金	災害体験者から学ぶ教室
8	火	安全指導	金		日		水	始業式	土		土	
9	水		土		月	避難訓練	木	安全指導 給食始	日		日	
10	木		日		火		金		月		月	
11	金		月		水		土		火	建国記念の日	火	避難訓練
12	土		火		木		日		水		水	
13	日		水	避難訓練(二次避難)	金		月	成人の日	木	避難訓練	木	
14	月	スポーツの日	木		土		火		金		金	
15	火		金		日		水	避難訓練	土		土	
16	水		土		月		木		日		日	
17	木		日		火		金		月		月	
18	金		月	水泳指導終	水		土		火		火	
19	土	運動発表会	火		木		日		水		水	
20	日		水		金		月		木		木	春分の日
21	月	振替休業日	木		土		火		金	展覧会(児童鑑賞日)	金	給食終
22	火		金	研究発表会	日		水		土	展覧会(保護者鑑賞日)	土	
23	水		土	勤労感謝の日	月		木		日	天皇誕生日	日	
24	木		日		火	給食終	金	薬物乱用防止教室(5)	月	振替休日	月	卒業式
25	金		月	個人面談始	水	終業式	土	ひのっ子作品展始	火	振替休業日	火	修了式 離任式
26	土		火		木	冬季休業日始	日	ひのっ子作品展終	水		水	春季休業日始
27	日		水		金		月	校内書初め展始	木		木	
28	月		木	小学校連合音楽会(6)	土		火		金		金	
29	火		金	個人面談終 小学校連合音楽会(6)	日		水				土	
30	水		土		月		木				日	
31	木				火		金				月	